

学校教育方針

京都市立醍醐西小学校

学校教育目標

自ら学び、共に認め高め合い、未来を切り拓く子の育成

目指す子ども像

- だ だれとでも協力する子（思いやりの心を持ち、友だちと協力して活動する子）
- い いっしょうけんめい頑張る子（目標を持ち、最後まであきらめず、粘り強くやり遂げる子）
- ご ころも体も健康な子（自分の健康に関心を持ち、規則正しい生活リズムで元気に活動する子）
- に にこにこ笑顔で挨拶する子（自ら進んで明るく挨拶する子）
- し しっかり話を聞き、しっかり学ぶ子（人の話をしっかりと聞き、自ら学ぶ子）

目指す学校像

- ◎明日も行きたくなる学校
- 安全で、安心して過ごせる学校
- 信頼できる、大好きな友達や教職員がいる学校
- 分かる喜び、学び合う楽しさが実感できる学校
- 家庭や地域、関係機関と協働する学校

目指す教職員像

- 一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
- 自己研鑽に励み、自らを高め続けようとする教職員
- 教育改革を自ら推進する教職員
- 「チーム醍醐西」として協働する教職員

学校経営方針

学校教育目標の「自ら学び、共に認め高め合い、未来を切り拓く子の育成」に向け、全教職員が取り組むべき課題を共有する。そして、全ての児童が夢や希望、将来展望をもち、その実現のために必要な資質・能力を獲得できるよう教育活動を推進する。

○育成をめざす資質・能力

主体的に判断し行動する力（自分で考え、判断、表現、行動する力）

人間関係形成能力（多様な他者の考えを理解、尊重しながら、協力・協働する力）

対話力（対話を通して、自分の考えを整理したり友だちの考えを理解したりする力）

重点取組

- ・児童の学力向上
- ・ICTの効果的な活用
- ・校内研究の推進
- ・人権教育の充実
- ・発達支持的生徒指導の推進
- ・総合育成支援教育の充実
- ・働きやすい職場、働きがいのある職場づくり

I 「確かな学力」の育成に向けて

重点目標

- 分かる喜びと学び合う楽しさを実感できる授業を構築し、児童が自ら学ぶ力を育成する。
- 授業を通して共感的な人間関係の育成を図り、共に学び合う集団作りに取り組む。
- 話す力、聞く力、話し合う力の向上を図るとともに、対話を通して自分の考えを整理したり友だちの考えを理解したりする力の育成を図る。

具体的な取組

（I）授業力の向上

○分かる喜びと学び合う楽しさが実感できる授業の構築

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・問題解決的な学習や体験学習の充実
- ・単元や本時の「ねらい」と付けたい力の明確化
- ・「めあて」に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底
- ・個の思考の流れに応じた学習展開、発問や板書の工夫
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ICTの効果的な活用
- ・授業のユニバーサルデザインの充実

○学習指導と生徒指導の一体化

- ・生徒指導の実践上の4つの視点を意識した授業づくり

○各種学力調査の結果を受けた研修会の実施

- ・各種学力調査の結果分析
- ・教職員間で成果と課題の共有→日々の授業改善

○教職員間による授業公開

- ・授業を行う
- ・授業を見て学ぶ

(2) 校内研究の推進

研究主題 「 醍醐西に対話力

ー友だち大好き～話したい、ききたい、わかり合いたい！～

主体的に話し合う子どもの育成ー」

- 児童が主体的に話し合う授業づくり
- 相手意識を高める取組の充実
- 児童の話す・聞く力の向上
- 本の読み聞かせの推進
- 児童の変容分析
- カリキュラムマネジメントの推進

(3) 基礎・基本の確実な習得

- 帯学習の充実
- LD等支援の必要な児童の学力保障
 - ・個別の支援と個別の配慮
 - ・普通学級担任とLD等通級指導教室担当者との連携
- 醍醐西検定
- 読書活動の充実
 - ・学習の基盤となる言語能力の育成
 - ・各教科等の指導における学校図書館の活用
 - ・家庭での読書の習慣化

(4) 総合的な学習の時間の推進

- 年間計画の作成と学習内容の見直し
- 学習過程（発見課題→追究課題→提案課題→熟成課題→表現課題）を意識した活動
- 「正しい人権感覚」「実践力」の育成
- キャリア教育の充実～自分らしい生き方の追求～
- 外部人材の積極的な活用

(5) 家庭学習の習慣化

- 学習予定表の活用
- 目的意識をもった自主学習の奨励
- 個に応じた課題の設定
- 家庭学習の手引の活用
- GIGA端末の効果的な活用

2 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標

- 自分やまわりの人、醍醐西を大切にする子どもの育成を図る。
- 発達支持的生徒指導を推進し、児童の自己指導能力の育成を図る。

具体的な取組

(1) 道徳教育の充実

- 「特別の教科 道徳」の充実
- 互いの良さや違いを認め合い、高め合える児童の育成

(2) 発達支持的生徒指導の推進

- 挨拶の励行
- 子どもの思いや話をしっかり「聴く」姿勢
- 子どもを認め、褒める関わり
- 教職員と児童、児童相互のあたたかい人間関係づくり
 - ・相手を大切にする言葉遣い
- 児童の居場所づくり
- 意図的な活躍の場の設定
- 生徒指導上の4つの視点を意識した授業実践
 - ・自己存在感の感受を促進する授業
 - ・共感的な人間関係を育成する授業
 - ・自己決定の場を提供する授業
 - ・安心・安全な「居場所づくり」に配慮した授業
- 特別活動の充実
 - ・児童会活動の充実
 - ・たてわり活動の充実

(3) 規範意識の育成 ～社会で許されないことは、学校でも許されない～

- きまりや約束の徹底
- 非行防止教室、薬物乱用防止教室の実施
- 情報モラル教育の充実

(4) 確かな児童理解と見逃しのない観察、手遅れのない対応、心の通った指導

- 日常の授業や遊びの場等でのきめ細かい観察
- 保護者との信頼関係の構築
 - ・意図的な家庭訪問、電話連絡
 - ・保護者の思いを傾聴・共感
 - ・学校HP等による情報発信
 - ・懇談会等における保護者のネットワークづくり
- 「いじめ」を許さない集団づくり
 - ・学校いじめ防止基本方針の見直しと実践
 - ・未然防止に向けた取組の充実
 - ・クラスマネジメントシートやいじめアンケートの活用
- 毅然とした粘り強い指導の徹底
- 報告・連絡・相談の徹底
- 組織的な対応
- SC・SSWの活用
- 発達、虐待、非行等における関係機関との連携

(5) 人権教育の充実

- 児童の人権感覚、人権意識の向上
- 毎月の人権学習（ぽかぽかタイム）の充実
- 総合的な学習の時間、特別の教科道徳の充実
- 対話を通じて子どもが共に「学び合う」集団づくり～人権教育の基盤～

(6) 総合育成支援教育の充実

- 全教職員による児童理解、課題の共有
- 学期ごとに関係教職員によるケース会議の実施
 - ・アセスメントシート（個別の指導計画・個の課題に応じた指導計画）の活用
 - ・的確なアセスメントの実施と具体的取組の充実
- 交流学习の充実
- 就学支援シート等を活用した保幼小連携の充実

(7) 豊かな感性と情操を育む教育の充実

- 伝統文化や芸術の取組（茶道、陶芸等）の充実
- 中山保育園の園児との触れ合い
- 自然体験活動の充実

3 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標

- 自分の健康に関心を持ち、主体的に健康な体作りに取り組む子の育成を図る。
- 子どもの命を守りきる安全教育の充実を図る。

具体的な取組

- (1) 体を動かすことが大好きな、健康的な子どもの育成
 - 運動、スポーツの楽しさや喜びを味わえる体育指導や部活動の実践
 - 日常的な子どもの遊びにつながる体育学習
 - たてわり遊びの充実
- (2) 保健教育の充実
 - 望ましい生活習慣の確立
 - ・自ら実践する力を育てる取組の充実
 - ・保護者への積極的な働きかけ
 - ・感染症をはじめ、病気やけがに対しての正しい理解と実践的態度の育成
 - ・メディアコントロールできる実践的態度の育成
 - 飲酒・喫煙・薬物に関する指導の充実
 - 生命の安全教育の充実
- (3) 安全教育の充実
 - 「生活安全」「交通安全」「災害安全」の指導の充実
 - 危機管理マニュアルの見直しと、それに基づく研修の実施
 - 避難訓練、HANAモデルに基づいた訓練の実施
- (4) 食に関する指導の推進
 - 保健教育との連携
 - 望ましい食習慣の確立
 - 全教職員による適切な食物アレルギー対応

4 保幼小中連携の推進

(1) 小中連携

- 9年間を見据えた教育目標と取組の共通理解と実践
- 小中連絡会、中学校ブロックでの授業公開等の小中合同研修会の実施
- 各部会の定期開催
- 中学校英語科教員による6年生外国語科の出前授業の実施
- 個別の指導計画・個の課題に応じた指導計画等の資料による確実な引継

(2) 保幼小連携

- 架け橋プログラムの実施
 - ・幼児教育と小学校教育の連続性、一貫性を目指した授業改善
 - ・スタートカリキュラムの充実
 - ・幼児教育を取り入れた教育実践
 - ・中山保育園との連携強化

5 働き方改革の推進

(1) 働きやすい職場、働きがいのある職場づくり → 教育の質のより一層の向上

- 前例踏襲ではなく、常に教育改革を意識した企画・立案・実践・評価
- ねらいを明確にした教育活動、研修、会議の実施
- 行事、業務の精選
- 会議の効率化
- ICTの活用による校務の効率化
- 校内研修の見直し及び活性化
- 電話対応時間の設定（8：00～17：30）
- 専科指導による授業の充実と空き時間の有効活用
- 問題行動や保護者対応における組織的対応
- 年次休暇等の取得の促進（目標：年間年次休暇取得16日以上）

6 教育環境整備

(1) 美しい環境づくり

- 日々の清掃活動の徹底
- 整理・整頓～使いやすい状態に～
- 校内の危険個所の点検と整備
- 優先順位を付けた修繕

(2) 教材・教具の充実